

日本農業気象学会 2013 年全国大会 若手研究者の会 企画集会

「評価の高い学術誌への論文掲載を目指す」

日時： 2013 年 3 月 27 日 (水) 17:00～19:30

会場： B 会場 (石川県立大学 K117 第二中講義室)

主催： 農業気象学会 若手研究者の会

(幹事：松田 怜・遠藤良輔・吉田ひろえ・根本 学)

<開催趣旨>

ポストや研究費など、若手研究者を取り巻く状況は依然厳しい。そのような状況の中で生き残っていく上で、最も重要なことの 1 つは、良い研究成果を評価の高い学術誌に掲載させることである。この企画集会では、後者の「評価の高い学術誌に掲載させる」ことに注目し、主に論文原稿の執筆、投稿から改訂を経て掲載に至るまでの過程について、農業気象学分野の研究者の方に話題提供をお願いした。もちろん、「評価の高い学術誌に掲載させる」ためには「良い研究成果」であることが前提であり、それらは本質的に切り離せるものではない。他方、編集者からみた国際誌の審査の実際や、著者と査読者とのやり取りと改訂のプロセスの実際などを知ることは、これから評価の高い学術誌での成果発表を目指す若手研究者にとって有益であろう。本企画集会が、論文執筆・改訂に関するテクニカルな部分だけでなく、そもそも「良い研究成果」を得るためにはどうすれば良いかなども含めて、農業気象学分野の若手研究者が学び考える機会となり、評価の高い学術誌にチャレンジするきっかけになれば幸いである。

<プログラム>

17:00～17:10 「趣旨説明」

松田 怜 (東京大学 大学院農学生命科学研究科, 若手研究者の会幹事)

17:10～17:50 「編集者の視点から」

平野高司先生 (北海道大学 大学院農学研究院)

17:50～18:30 「英語ができないことは致命的ではない」

渋谷俊夫先生 (大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科)

18:30～19:10 「自分の興味の範疇で人が求めることを半歩進めると国際誌に載る」

飯泉仁之直先生 (農業環境技術研究所 大気環境研究領域)

19:10～19:30 総合討論, 意見交換

* 企画集会の終了後、懇親会を開催いたします (JR 金沢駅付近の予定)。

<問い合わせ先>

松田 怜 (東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻)

E-mail: amatsuda@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp; Tel: 03-5841-5355